

講義名称	保育内容 環境	担当教員名	三友 正美
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CMPM1121

授業のキーワード	領域「環境」のねらいと内容
授業の概要	領域「環境」のねらい、内容について学びます。子どもと環境との関わりと其中での育ち、発達・季節・状況に応じた計画的かつ柔軟で適切な援助・環境構成等について知識、理解を深めます。具体的な遊びも紹介します
期待される学習成果 (目標)	領域「環境」のねらい、内容に基づいた保育の捉え方が分かります。乳幼児の身近な環境との関わりや具体的な遊び、育ちが分かり、それに即した環境構成・援助を自ら考え、実践できるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	幼児教育の基本的な捉え方	幼児教育の基本、環境を通しての教育を学びます
2	領域「環境」	幼稚園教育要領等における領域「環境」のねらい、内容を学びます
3	乳幼児の育ちと領域「環境」	乳幼児期の発達と環境との関わりと、それを支える「人」について考えます
4	乳児 1～2歳児の世界と環境	生命の保持と情緒の安定を基本に安心、安全であり心地よい環境との関わり方について
5	身近な環境 自然	園生活における自然との関わりとその重要性や、ネイチャーゲーム等実践的に学びます
6	身近な環境 栽培から学ぼう	栽培を通し教材への知識・理解を深め、予想される保育の展開（製作や食育等）を考え実践します
7	身近な環境 動植物に親しむ 命の営み	命の尊さや大切さに気づく子どもの学びと保育者の関わりについて討議しながら学びます
8	ものや道具に関わって遊ぶ	発達に応じたものや道具などの環境と子どもの関わりと、具体的な環境構成について学びます
9	文字や標識、数量や図形に関心をもつ	文字や標識、数量や図形等と子どもの関わり及び具体的な環境構成の仕方について
10	遊びや生活の情報に興味をもつ	ある実践から、子どもと情報の関わりや保育への取り入れ方について考えます
11	日本の文化や異なる文化に触れる	子どもたちに伝えたい日本の伝統文化・行事について調べ、知識・理解を深めます
12	幼児期の思考力の芽生え	関わる、気づく、考える、協同的に学ぶ力を育む保育環境と、特に再構成に重きを置いて学びます
13	小学校との連携と円滑な接続	特に配慮を要する子どもと環境及び、スタートカリキュラム等小学校との円滑な接続について
14	今までの学びを基に保育室の環境を考えよう	年齢、発達、季節、興味関心に即した遊びや生活の環境を具体的にデザインします
15	栽培の記録と保育の展開についての発表	パワーポイント等を活用し記録を発表、及びまとめ

定期試験	レポート (適宜小テストを実施する場合あり)
授業時間外学習	1 授業内容の復習をし、ノートをまとめる。 2 テキストを読み、疑問点を整理する。
評価方法	教材研究・発表等における工夫や意欲 40% レポート 60%
使用する教科書 (必ず購入してください)	事例で学ぶ保育内容 領域環境 萌文書林 武藤隆監修 福元真由美編集代表
参考文献	就学前のぐんまの子ども はぐくみプラン 群馬県教育委員会 群馬県 子どもに伝えたい年中行事・記念日 萌文書林